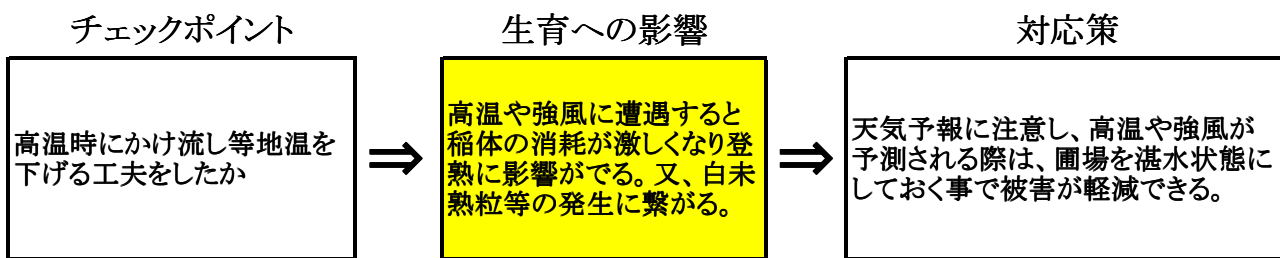
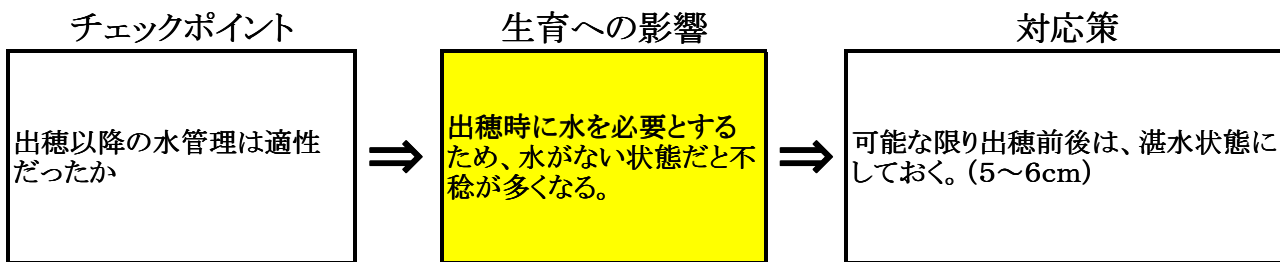


単収確保に向けて 《第9弾》

まもなく出穂期 適切な水管理を実施しよう！

7月25日の管内の生育調査データによると、平年と比べて草丈がやや短めで茎数は多くなっており、葉令については、平年並みの生育スピードになっておりますが、減葉している圃場も多く見られ、平年と比べて出穂が早まる傾向にありますので、各営農センターによる情報等を確認の上、今後の管理作業をお願い致します。

◎今後の管理についてのチェックポイント



○今後の水管理について

- ・今後の水管理については間断かん水(2日湛水、3日落水)を行い、活力維持して下さい。
- ・出穂時に水を必要とするため、出穂直前から湛水状態にして下さい。
- ・出穂後は白未熟粒の発生を軽減するために、可能な圃場ではかけ流しを行いましょう。
- ・高温、強風(フェーン)時には可能な限り湛水状態として下さい。

単収確保に向けた重点実施事項

チェックポイントを点検し
該当する対応策を実施しましょう。